

意識した点

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- ① **コンテストのメリット**を理解してもらうこと
- ② **自分でも勝負できる**と感じてもらうこと

①コンテストのメリット

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- 入選すれば**表彰**される
 - 過去の表彰式の様子(ホームページの写真)
- **意匠登録出願**を経験できる
 - 経験から得られる知見
 - 主催者に負担してもらえる経費(出願費用)

「動画で意匠制度を初めて知り、
とても勉強になりました。」
(応募学生)

②自分でも勝負できる

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- 受賞作品を見てもらうのが一番
- **過去の受賞作品を調査**
 - 受賞校のホームページ閲覧
 - 「受賞校名＋デザインパテントコンテスト」で記事検索
 - **J-PlatPat**によるサーチ

「応募の決め手になりました。」
(応募学生)

周知の結果・・・

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- 2名の学生が「**応募したい!**」
 - 美術科デザイン専攻2年生
- **注意点**の説明
 - 出願するまで公開できない(他コンテストへの応募不可)
 - 12月まで結果はわからない
 - 卒業制作にはできない

応募に向けた指導

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- **創作に関する部分**

- アイデア出し、試作品の制作などに関する指導

⇒ **美術科の教員(ゼミの先生)**

- **コンテストに関する部分**

- 知的財産制度の説明、先行事例検索、提出書類作成指導

⇒ **担当教員(野田)**

ミーティング

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- スケジュール(進捗)管理
- 教員と学生との距離が近い
 - 小規模大学のメリット

「夏休みを利用して、
創作に集中できました。」
(応募学生)



- 2件とも無事に応募書類提出



コンテストの効果

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- **実社会における活躍を意識した実践的活動**
 - 自分でアイデアを生み出す
 - 文章や図面で表現する
 - 保護・活用のための知財を知る
 - 権利化についての実務を知る
- 周知段階で他学科生に知財の説明 ⇒ **思わぬ出会いも**
- **学科間の連携**
 - 知的財産の観点からのデザインやアートへのアプローチ
 - 本学の新しい魅力と可能性を引き出すきっかけに

今後の展望

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

- 今回得られた知見をもとに、改善を重ねていきたい
- 対象学生の拡大
 - 対象学年、対象学科
- **学内説明会**の実施
 - 授業の合間ではなく、説明の時間を確保する
 - 意匠の専門家をお招きする(知財教育の場も兼ねる)



ご清聴ありがとうございました。